



生活環境



悪質商法にご用心

巧妙な手口の悪質商法の被害が、後を絶ちません。悪質商法の現状を知り、被害に遭わないようにしましょう。

資格商法

電話で「受講すれば資格が取れる」「もうすぐ国家資格になる」などと執拗に勧誘し、講座や教材を契約させます。最近では、以前の契約者に、「講座を終了させるための手続きが必要」と言っ

ポイントメント商法

「あなたが選ばれました」「あなたが販売目的を隠して、電話などで喫茶店や営業所

に誘い出し、そこへ出掛けると高額なアクセサリーやパソコン、会員権などの購入を言葉巧みに勧め、長時間説得して契約させます。最近では、携帯電話の出会い系サイトなどを利用したデート商法の被害も増えています。

不当・架空請求

「最終通達書」の見出しで「有料情報サイトの利用料金が未払い、このままでは訴訟にする。至急連絡せよ」というはがきやメールが突然届きます。相手に連絡すると個人情報を知り出され、言われるままに高額な料金を支払われます。身に覚えのない請求は、徹底的に無視しましょう。

点検商法

「点検に来た」と言っ

ム工事をしたり、シロアリ駆除剤や除湿剤、床下換気扇、浄水器などを売りつけたりします。契約急がせる業者には要注意。

催眠(SF)商法

「無料でプレゼント」などと言って人を集め、会場で台所用品などを無料で配り、得した気分させ、高額な布団や医療器具などを売り付けます。タダほど高いものはありません。その場の雰囲気

のまれないようにしましょう。訪問販売・電話勧誘販売などで契約してしまったときは、クーリング・オフを利用しましょう。

困ったときはまず相談！

相談は無料で、個人の秘密は守ります。相談先 市生活環境課 0869-22-1899 県消費生活センター 086-226-0999

悪質商法の現状を知り 対処法を学ぼう

瀬戸内市消費生活問題研究協議会が、次のとおり学習会を開きます。

- 日時 1月25日(水) 午後1時30分～3時
- 場所 リサイクルプラザ・おく 瀬戸内市邑久町尾張 483-6
- 講演 「身近で起こる悪質商法とは」
- 講師 瀬戸内警察署生活安全課 渡邊研二課長
- 問い合わせ先 リサイクルプラザ・おく 0869-22-3707

教育功労で瑞宝双光章受章

岡村三平さん(71歳・邑久町福中)



岡村三平さん(写真)が、教育功

昭和32年、新見市立足立小学校勤務。その後、岡山市立の中学校や岡山大学教育学部附属中学校で教鞭を執り、61年から平成5年まで岡山市教育委員会事務局勤務。7年3月、岡山市立福浜中学校長を最後に教職を退く。9年1月から1期4年、邑久町教育委員会教育長を務めた。現在は、瀬戸内市文化協会会長を務め、尽力。

「何が評価されたのか分かりませんが、皆さんに助けられ支えられてやってきました」と岡村さん。1学年が700人を超えるマンモス中学校や研究校、荒れる中学校にも勤務。信念をもち、それぞれの学校で教育に全力を尽くしました。岡山市教育委員会に勤務したときは、「自立を目指した人づくり」を提唱しました。福浜中では、教育

委員会時に示したことを実践。自立が高まることで、いじめや差別がなくなり、創造や挑戦することと喜びや充実感を味わい、自信を持つて自立へ向かい、次の挑戦へとつながります。「一人ひとりが輝くよう、一人ひとりに目を向けて」と言い続け、実践してきました。教育長になっても考え方は変わらず、懸命に事に当たり、学校給食集団食中毒の被害者への対応や学校給食検討委員会の設置、学校給食共同調理場建設の検討などに奔走しました。

危険業務従事者で瑞宝単光章受章

清水俊夫さん(77歳・邑久町上笠加)



清水俊夫さん(写真)が、危険業

昭和20年5月、警察学校へ入学。6月、空襲で学校が焼け、岡山東警察署に着任。丸の内派出所、駅前派出所、天満屋派出所、岡山南警察署、瀬戸警察署などに勤務し、59年12月に岡山県警部で退職。その間、警察音楽隊でも活躍。退職後、歌を生き甲斐に歌手デビュー。現在は、老人ホームなどを慰問し、大勢の皆さんに元気を与えている。

務従事者叙勲の瑞宝単光章を受章しました。着任早々、空襲後の検死補助に当たり、駅前派出所勤務時は、馬に乗って交通整理。昭和21年、岡山駅で強盗殺人犯を逮捕。「これが一番大きな手柄」と清水さん。24年、警察音楽隊ができ入隊。警察の職務と音楽隊を兼務し、副隊長で引退するまで音楽活動を続け

ました。家に帰るのは、早くて午前零時。子どもの顔を見ることがないほど、職務と音楽隊活動に力を注ぎました。警務課では25年間、拳銃の精密手入れを主体に行っていました。57年には、パトロール中に強盗事件発生を知り、現場に急行。得た情報とよく似た人相の相手に職務質問し、逮捕につながりました。58年、瀬戸警察署に配属。長年の激務がたたってか肝臓を患い、入院を余儀無くされ、翌年退職。懸命に勤めた38年間でした。

原野広之さんの愛牛 全日本ホルスタイン共進会 第11部で優等賞1席



原野末廣さん(右)・広之さん親子と愛牛

原野広之さん(34歳・牛窓町長浜)の愛牛が、全日本ホルスタイン共進会第11部(5〜6歳級)に出場し、見事優等賞1席の農林水産大臣賞を受賞しました。

この大会は、5年に1度開かれ乳牛のオリンピックといわれるもの。11月3〜6日の4日間、栃木県で開かれ、全国44都道府県から304頭(岡山県から13頭)が出場し、12部に分かれて競われました。

瀬戸内市からの出場は、昭和36年の第3回大会以来44年ぶり。岡山県開催以外で県代表の牛が優等賞1席を獲得したのは初の快挙。広之さんは「これからも頑張つて、父に負けないうまい牛を育てたい」と話していました。